

● 石綿 (アスベスト)

当社の建物及び設備の一部には、飛散性があるとされる「吹付け石綿」と、通常状態において飛散性がない「石綿含有製品」を使用しています。

吹付け石綿は、関係法令にのっとり適切に対策工事を実施し、すべての使用箇所まで飛散防止対策を完了しています。

石綿含有製品については、定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品への取替えを進めています。

また、建物・設備を解体する際には、法令などにに基づき飛散防止措置を徹底の上、適切に解体・搬出・処理を行っています。

建物及び設備における主な石綿使用状況 (2012年3月末現在)

対象	使用箇所	現状 (使用状況等)	備考 (対応状況他)
吹付け石綿	設備機器室、変圧器室等の防音材、断熱材、耐火材として一部の壁面や天井に使用	・すべての使用箇所について飛散防止対策済	・定期点検が必要な対策済の建物については、毎年状態を確認
石綿含有製品	建 材	建物の耐火ボード、床材等に使用	・2006年8月以前に使用された建材の一部に含まれていると推定。それ以降は石綿含有製品は不使用。
	防音材	変圧器防音材 (変電設備・水力発電設備)	・76台
	石綿セメント管	地中線用の管路材料 (送電設備・配電設備)	・こう長: 約180km
	保温材	発電設備 (火力設備・原子力設備)	・石綿含有製品残数: 約3万㎡
	シール材 ジョイントシート	発電設備 (火力設備・原子力設備)	・石綿含有製品残数: (火力) 約35万個 (原子力) 約15万個
	緩衝材	懸垂碍子 (送電設備)	・懸垂碍子: 約146万個 (碍子内部において、緩衝材として石綿含有製品を使用。碍子表面の磁器部分には不使用。)
	増粘剤	架空線用の電線 (送電設備)	・電線防食剤: こう長約96km

(注) 火力設備には内燃力発電設備を含む。

 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > 石綿の使用状況

3 生物多様性の保全

九州の豊かな自然環境を将来にわたって守り続けるため、地域の皆さまと一体となって、生物多様性に配慮した様々な活動に取り組んでいます。

(1) 坊ガツル湿原における野焼き活動

大分支社では、1999年に地元関係団体などとともに「坊ガツル野焼き実行委員会」を発足させ、以降、毎年ボランティアとして委員会の運営や、野焼き活動への協力を続けています。

野焼きによる湿原保全を通じて、「人が手を加えながら、自然を維持していく」ことに貢献していくために、今後とも、地域の皆さまと一体となって、美しい坊ガツルの湿原保全活動に取り組んでいきます。

なお、「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」(大分県竹田市、九重町) は、2005年に国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約に登録されています。

私の環境アクション

坊ガツル湿原における野焼き活動への参加

野焼きを復活して13年。坊ガツルの夏は緑の絨毯となり、多くの登山者を癒してきました。でももっと素晴らしいのは、この13年間に大きな事故がなく今年も作業を迎えられることです。九州電力さんや関係者の皆さんがしっかりと、輪地切り、輪地焼きをしていただくおかげで、野焼きができて、結果、坊ガツル湿原が再生していきます。

多くの野焼きが衰退していく中で、この野焼きがモデル



ケースになろうとしている今、野焼きを通じて知り合った多くの皆さまの輪が今後も続き、1年でも永く続けられるよう、感謝を忘れず、積み重ねていきたいと思っています。



坊ガツル野焼き実行委員会 会長 **ひろくら たけひさ 弘藏 岳久 さん**

用語集を
ご覧ください

- 石綿 (アスベスト)
- 懸垂碍子
- 架空線
- 防食グリース
- 生物多様性
- ラムサール条約